

炎ウイルス検査を引き続き無料で実施いたしました。

妊産婦及び新生児の健康対策につきましては、妊婦健康診査の公費負担の回数を3回から5回に増やすとともに、新たに生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、親子の心身の状況や養育環境の把握を行う、こんにちは赤ちゃん事業を実施いたしました。

また、6か月未満児のBCG予防接種については、市民の利便性の向上を図るため、集団接種から個別接種体制に移行しましたほか、乳幼児細菌性髄膜炎の予防接種に要する費用について新たに助成いたしました。

さらに、翌年度に小学校入学を控えた幼児を対象に生え始めの永久歯の虫歯を予防するため、新たに就学前歯の健康づくり事業を実施いたしました。

建設を進めてまいりましたかごしま環境未来館につきましては、平成20年10月に供用開始するとともに、開館にあわせ、記念シンポジウムや環境メッセージコンテスト、環境映画会、地球108の顔展などを開催いたしました。

さらに、環境に関する様々な情報を提供する環境情報システムを整備し、運用開始しましたほか、市民の環境への関心を高めるイベント等を開催するとともに、環境問題について楽しく学べる環境学習講座の実施や環境カレッジの運営等を行いました。

また、市民と協働して環境にやさしい持続可能なまちを築いていくため、「かごしま環境都市宣言」を行いました。

地球温暖化対策につきましては、太陽光発電システムなど、家庭などで作られるグリーン電力をかごしま環境未来館や本庁及び支所に導入しましたほか、電力消費の多い事業所の省エネ運転制御機器及び住宅用太陽光発電システムの設置に対し、助成いたしました。

美しいまちづくりの推進につきましては、まち美化推進団体やまち美化地域指導員をはじめ、市民との協働による取組を推進いたしました。

ごみの減量化・資源化の推進につきましては、かごしま環境未来館に設置したリサイクル工房及びリユース・リサイクルショップにおいて、リサイクルをテーマにした講座や不用品のリユースなどを行い、3R意識の高揚と実践活動を推進しましたほか、ごみステーションに出された一般廃棄物の持去り行為を防止するため、新たに監視指導員を設置いたしました。